

急速に進む少子高齢化や首都圏への人口集中を是正し、地域社会の形成や人材の確保、就労の機会の創出などを推進するため「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年11月に制定され、喜茂別町でも人口ビジョン・総合戦略を策定しました。

策定にあたっては、産・官・学・金・労・言に加え有識者、一般公募町民で構成する「喜茂別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」を設置し策定を進めてきました。

## 喜茂別町人口ビジョン

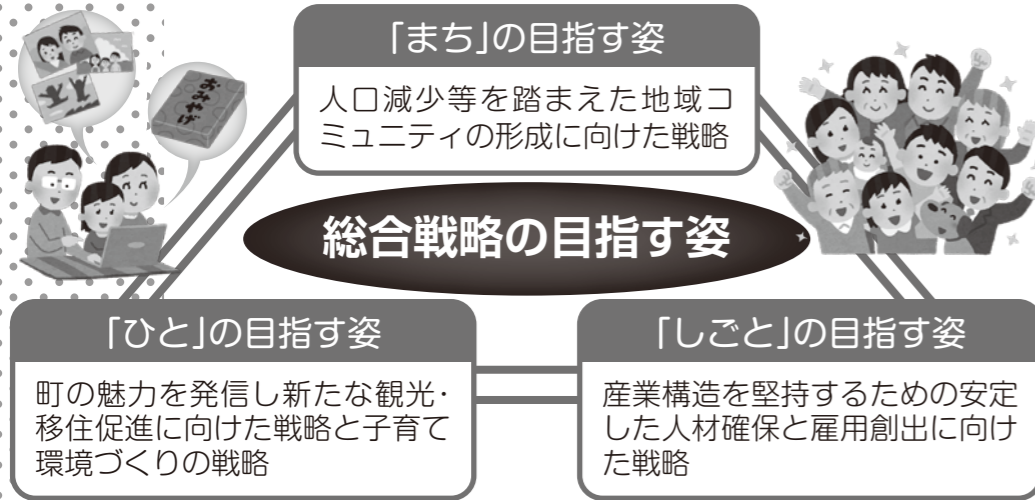
本町の人口は、出生数の減少や転出超過により年々減少しており、現状のままで推移すると2060年(平成72年)には約800人まで減少すると推計されています。

中高生や住民を対象に実施したアンケートでは喜茂別町の将来について、若い世代の雇用の場の確保や安心して子育てできる環境の整備、買い物や通院など生活の利便性の向上に対する意見が多く挙げられました。

本町の出生率や社会増減に着目した厳しい現状を踏まえつつ、出生率を上げ人口流入の増加と流出抑止を図りながら、2040年に人口約1800人、2060年に約1400人の確保を目標としました。

総合戦略は、人口ビジョンで示した「2060年に約1400人を確保」を目標に、地域の雇用や子育て、移住などについて、本町の実情に応じた目標や施策をまとめたものです。

## 喜茂別町総合戦略



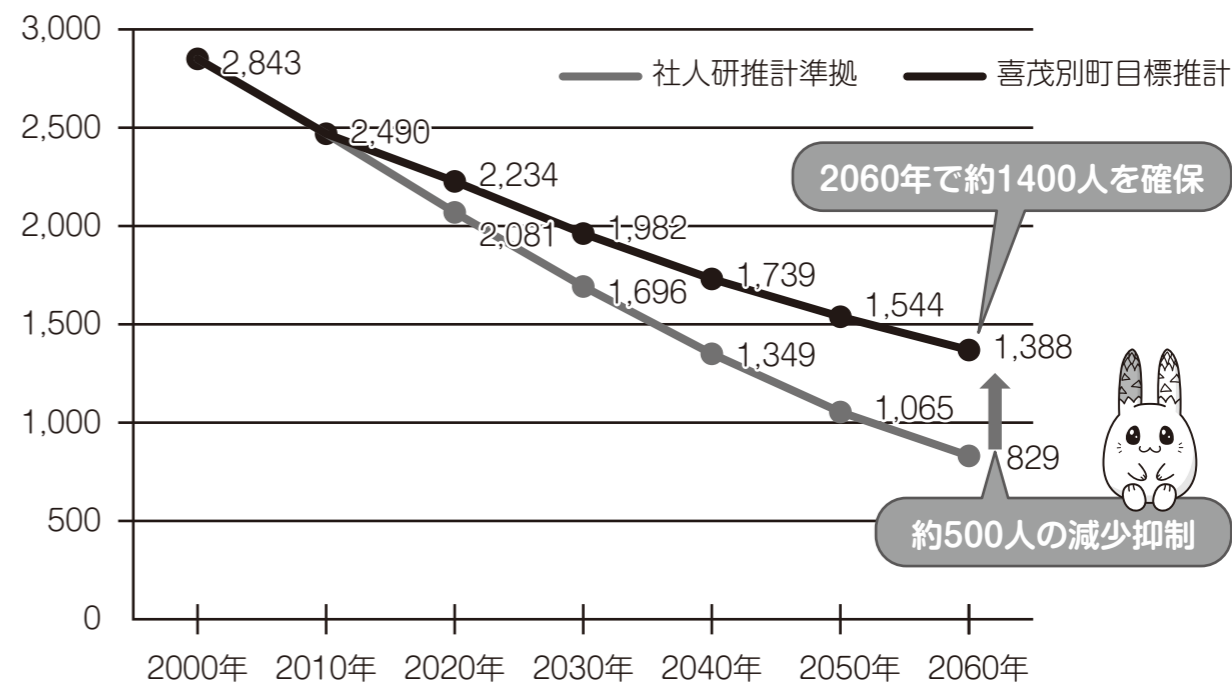
## 喜茂別町人口ビジョン

【目標人口】 2040年…1,739人 2060年…1,388人

### 人口の将来展望

出生率向上(合計特殊出生率)…2030年に1.80、2040年に2.07を実現  
社会移動抑制…2040年以降の転入出数を均衡

	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
社人研*推計準拠	2,843	2,490	2,081	1,696	1,349	1,065	829
喜茂別町目標推計	2,843	2,490	2,234	1,982	1,739	1,544	1,388



\*社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略称。厚生労働省の研究機関。

## 基本目標

### 基本目標1 安定した雇用の創出

農業や林業、医療・福祉などを中心に、産業のすそ野を広げ、安定した雇用の確保の創出に取り組みます。



#### 目標

- 雇用状況を改善して、若年層の流出を食い止めます。
- 町内での「働く場」を確保します。人手不足やミスマッチなどの解消を図ります。

#### 主な方向性

- 持続可能な農林業の基盤づくり
- 地元企業・産業における人材確保に対する支援の強化
- 特産品開発や6次産業化支援体制の充実

### 基本目標2 新しい人の流れをつくる

「お試し暮らし」など他市町村での取組などを参考に、移住を具体化するための対策を展開するほか、観光入込客の取り込みなどによる交流人口の増加を目指します。

#### 目標

- 移住や定住に対するプロモーションを積極的に行い、社会移動増を図ります。
- 観光に関する様々な取組展開により入込客数の増加につなげます。

#### 主な方向性

- 豊かな自然と地域性を活かした観光や移住促進に向けた体制の強化
- 若者・移住者向け住宅環境の充実

### 基本目標3 子育て支援の充実

出生率向上のため、安心して子供を産める環境や子育て環境などを整備し不安の解消を図ります。また、ICTを活用するなど質の高い特色ある教育を展開します。

#### 目標

- 婚活など出会いの場を提供して、結婚の「きっかけ」づくりを行います。
- 安心して出産・子育てできる環境づくりを行い、出生数の向上を目指します。

#### 主な方向性

- 出産と子育てに関する支援体制の充実
- 健やかな子どもの成長を考える教育環境の整備
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進

### 基本目標4 安心・安全な暮らしを守る

安全・安心な暮らしを確保するため、様々なサービスの「質」の維持やまちの魅力を高める仕組みづくりに取り組みます。



#### 目標

- 町民にとっての「住みよさ」を追求し、それを維持できる仕組みづくりを行います。
- 喜茂別町の「住みよさ」を町外にもアピールします。

#### 主な方向性

- 住民が安心して生活できる各種環境の充実
- ICTを活用したまちづくり
- 集落・地域コミュニティを守るための施策展開



約500人の減少抑制